

知識が安心につながる ケアに役立つ 薬のはなし

私たちは、日々めざましい進歩をとげている多彩な薬剤の恩恵を受けています。しかし、その情報量はあまりにも膨大ゆえ、医療現場でも薬にまつわる知識が錯綜しているのが現状。一体どの情報を根拠に患者さんへの説明を行なえばよいのでしょうか。

患者さんに納得してもらい、正しく服薬してもらうためには、「薬のことは薬剤師さんに一任」ではなく、患者さんのいちばん近くにいるナースが皆、ナースと薬剤師は、お互いが重要なパートナーなのです。チーム医療を活性化し、より安心できる医療を実践するため、ナースが知っていたら役立つ知識を紹介します。

知っておきたいパート 1 ジェネリック医薬品のはなし ●512 ページ

医療費抑制のため、先発医薬品より安価なジェネリック医薬品が注目を集めています。CM 等でもその利点がアピールされているものの、いざ病院で勧められると不安をもつ人は多いはず。患者さんへの説明に役立つ知識を解説します。

知っておきたいパート 2 健康食品・サプリメントと薬の飲み合わせ ●518 ページ

薬同士、そして薬と食品の間にはさまざまな相互作用が報告されています。せっかくの薬も、弊害が発生してしまつては元も子もありません。服薬指導の際に再確認しておきたい事項を紹介します。

知っておきたいパート 3 薬の副作用のはなし ●525 ページ

薬の副作用は予想できるものであり、的確な予防策をとれば患者さんの QOL は高まります。危険な副作用の恐れがある薬を紹介し、予防法から、万が一副作用が起こってしまったときの早急な対処法まで解説します。

ナースのための健康食品・サプリメントの基礎知識 ●531 ページ

いつでもどこでも簡単に手に入るサプリメント。しかし、間違った摂取は患者さんの治療計画に影響を及ぼし、健康な人にも有害作用をもたらすことがあります。患者さんだけでなく自身のためにも知っておきたい知識です。

看護師と薬剤師のコラボレーションで向上する！ 薬にかかわる患者さんの安全 ●536 ページ

患者さんの安全な服薬のためには、薬の知識をもつ薬剤師と、患者さんをそばで見守るナースの協力が必要不可欠。チーム医療を重視している群馬大学医学部附属病院の取り組みを紹介します。